

第4回 JR 笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会 議事概要

日時 : 平成31年3月19日(火) 10時00分～11時00分

場所 : 笠岡市役所 3階 第4会議室

参加者 : 委員 6名出席, 2名 欠席

事務局

配布資料: 次第、配席図、資料 No. 1～No. 3、参考資料

次第 :

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告案件
 - 1) 第3回委員会の主な意見等について
 - 2) 整備検討案の評価(前回の補足説明)について
4. 議事
 - 1) 整備検討案のとりまとめ
5. その他
6. 閉会

【会議要旨】

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告案件について

○報告案件 1) 第3回検討委員会の主な意見等について

(主な意見)

- ・今後の対応として、「今後詳細な設計等のなかで検討します」と詳細設計の段階への申し送り事項が検討されているが、これは本日のとりまとめ資料の中で把握されているということで良いか
→資料3のとりまとめ資料の中でお示しする、今後の検討事項に含まれている
- ・利用実態を把握するための調査はどのような内容を考えているか
→詳細な車や人の動きについて、南側からのアクセスが実際にはどうなっているのかも含めて調査を行い、具体のデータを収集したい。デッキ整備についても利用者数やニーズ等を調査から検討していきたい。

○報告案件 2) 整備検討案の評価(前回の補足説明)について

(主な意見)

- ・笠岡駅の乗車人数は現在の1日約3700人から5年後、10年後は増えそうか
→少子高齢化社会であり、線区によってかなり温度差はあるものの横ばいを維持するのが精一杯である。ただし、周辺環境の変化により、定住人口や交流人口が増えれば、利用者数も増加が見込める。

4. 議事

○議事 1) 整備検討案のとりまとめについて

(主な意見)

- ・将来の駅利用者はどのように把握するのか。
→不確定な内容であるが、立地適正化計画の策定において、駅周辺の商業施設の都市機能誘導施設とすることや、駅周辺を都市機能誘導区域とすることに加えて、今後は居住誘導区域など人が住むエリアの設定も検討していく予定である。
- ・駅利用者へのアンケートはどのような内容を考えているか。自転車利用の人もけっこう多いが、自転車利用についても聞くのか。
→具体的にはまだ決定していないが、地域公共交通網形成計画では乗り継ぎを重要な課題として挙げており、駅利用にあたってどのようなことをすれば駅利用者が増えるか、便利になるのかなど、ニーズを的確に把握していくことによりコンパクトなまち、公共交通が利用しやすいまちにしていきたいと考えている。現在、公共交通を利用している方がどのようなご意見を持っているかをアンケートで調査したい。

- ・笠岡駅周辺の駐輪場のスペースは足りているか。
自転車アクセスについては前回の委員会でも意見があったので、実態把握もしてほしい。
→自転車の利用実態把握も検討したい
- ・市内ヒアリングの中で、人口が減少し今後は厳しい財政運営が予想される、市の交付税減少にあたる財政状況が非常に厳しくなっているため実施事業の選択集中が求められるといった意見も挙げられていた。整備など夢のあることなので楽しみではあるが、心配である。
→整備に関しては、国の補助制度を利用する方法もあり、負担を減らせる可能性はあるので、市にとってより有利な事業の方法を検討していきたい。

(委員会としてのまとめ)

- ・本検討委員会のまとめとしては、資料 No. 3 にあるように案⑤の方向でまとめるものの、今後検討すべきこともあるし、条件や状況が変われば案の見直しも必要になってくる。
今の段階では、南北の回遊性を考えると最低限のもので整備する方が良いと考えられる。
以上の結論にさせて頂きたい。
→全委員異議なし

5. その他

6. 閉会